

平成28年8月30日

## 原料費調整制度に基づく平成28年10月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成28年10月検針分の単位料金を、平成28年9月検針分に比べ、1m<sup>3</sup>(45MJ)につき0.70円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、平成28年5月～平成28年7月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に32m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で平成28年9月検針分と比較して、22円(消費税込)ガス料金が下がります。

平成28年10月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

	(消費税込)					
1か月の ご使用量	料金表A 0～20m <sup>3</sup>	料金表B 21～80m <sup>3</sup>	料金表C 81～200m <sup>3</sup>	料金表D 201～500m <sup>3</sup>	料金表E 501～800m <sup>3</sup>	料金表F 801m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,036.80	1,209.60	1,857.60	6,177.60	12,225.60
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	122.18	107.60	105.44	102.20	93.56	86.00
(参考) 9月 調整単位料金	122.88	108.30	106.14	102.90	94.26	86.70

### 2. 標準家庭における影響

	(消費税込)		
1か月のご使用量 32m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	平成28年 9月	平成28年 10月	増減
適用料金(円/月)	4,502	4,480	▲ 22

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5か年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成28年4月～平成28年6月の平均 (9月検針分)	平成28年5月～平成28年7月の平均 (10月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	34,560	33,820	▲ 740
LNG	34,170	33,420	▲ 750
LPG	39,780	39,230	▲ 550
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	▲ 22,600	▲ 23,400	▲ 800

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 33,420 && \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 39,230 && \times 0.0546 \end{aligned}$$

33,820.77

↓(10円未満四捨五入)

33,820 円/t

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$33,820 \text{ 円/t} - 57,250 \text{ 円/t} = \Delta 23,430 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

▲ 23,400 円/t

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \Delta 23,400 \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.08748^{*1}$$

$$= \Delta 20.48 \text{ 円}^{*2}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.08748(0.081×1.08)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位を切り上げます。

#### <標準家庭における影響>

	(消費税込)		
1ヵ月のご使用量 32m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	平成28年 9月	平成28年 10月	増減
適用料金(円/月)	4,502	4,480	▲ 22

#### ・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込)

$$= \text{基本料金}(1,036.80 \text{円})$$

$$+ \text{調整単位料金}(128.08 \text{円}) + \Delta 20.48 \text{ (円)} \times 32 \text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

#### [参考]

##### 原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(57,250円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.08748円(0.081円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は91,600円としてガス料金の調整を行います。